

2016年12月期 第3四半期決算説明資料



2016年11月7日(月)
株式会社ワールドホールディングス
東証1部 (2429)



I .2016年12月期 第3四半期決算概要

II .2016年12月期 業績予想

I . 2016年12月期 第3四半期決算概要



各事業の戦略と取組み状況



人材・教育ビジネス

多様な分野への領域拡大

▶ 物流・リペア領域で成果

M&Aによる事業拡大

▶ 日研テクノ(株)、
ノーリツ台湾(股)を子会社化

様々な志向を持った人材への
雇用創出

▶ 女性向けハローワークの設置

外部連携企業の拡大

▶ 物流分野で進展

キャリア形成の仕組化

▶ セグメント別キャリアアップ
プランの構築

不動産ビジネス

<デベロップメント>

種地の先行取得・権利調整
自社開発/高額物件用地売却

▶ 地価高騰の中、
順調な仕入れ

<リノベーション>

地域ごとの実績を活用し
適正価格での仕入れを推進

▶ 予算を上回る順調な
仕入れペース

<ユニットハウス>

【新設拠点稼動(熊本支店)】
東日本エリアでの新規契約拡大

▶ レンタルに加え販売が順調

情報通信ビジネス

店舗サービスの拡充

▶ 店舗人材育成を継続

店舗網の拡大

▶ 新規2店舗、移転1店舗
オープン

取扱商材の拡大
(1次商材)

▶ 法人向けに
新たな商材を開拓中

第3四半期サマリー



- 売上高は不動産ビジネスの予算配分の違いによって前年同期比でほぼ横ばいも、営業利益、経常利益は不動産ビジネスの寄与から大幅増益を達成
- 不動産ビジネスによって営業利益、経常利益の通期予算に対する進捗率は100%超

単位：百万円、%

	2015/3Q 実績	2016/3Q 実績	前年同期比		通期予算※	通期予算に対する進捗率
			増減額	増減率		
売上高	69,736	69,675	△60	△0.1	100,111	69.6
営業利益	4,943	6,506	1,562	31.6	6,275	103.7
経常利益	4,912	6,454	1,541	31.4	6,153	104.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,556	3,678	121	3.4	3,814	96.4

※2016年2月3日発表

第3四半期セグメント別売上高



- 人材・教育ビジネスは、物流分野による他セグメントとのシナジーによって順調に推移
- 不動産ビジネスは、物件の引渡しが進み営業利益拡大に大きく寄与
- 情報通信ビジネスは、前年度からの取組みである店舗効率化によって収益性が改善

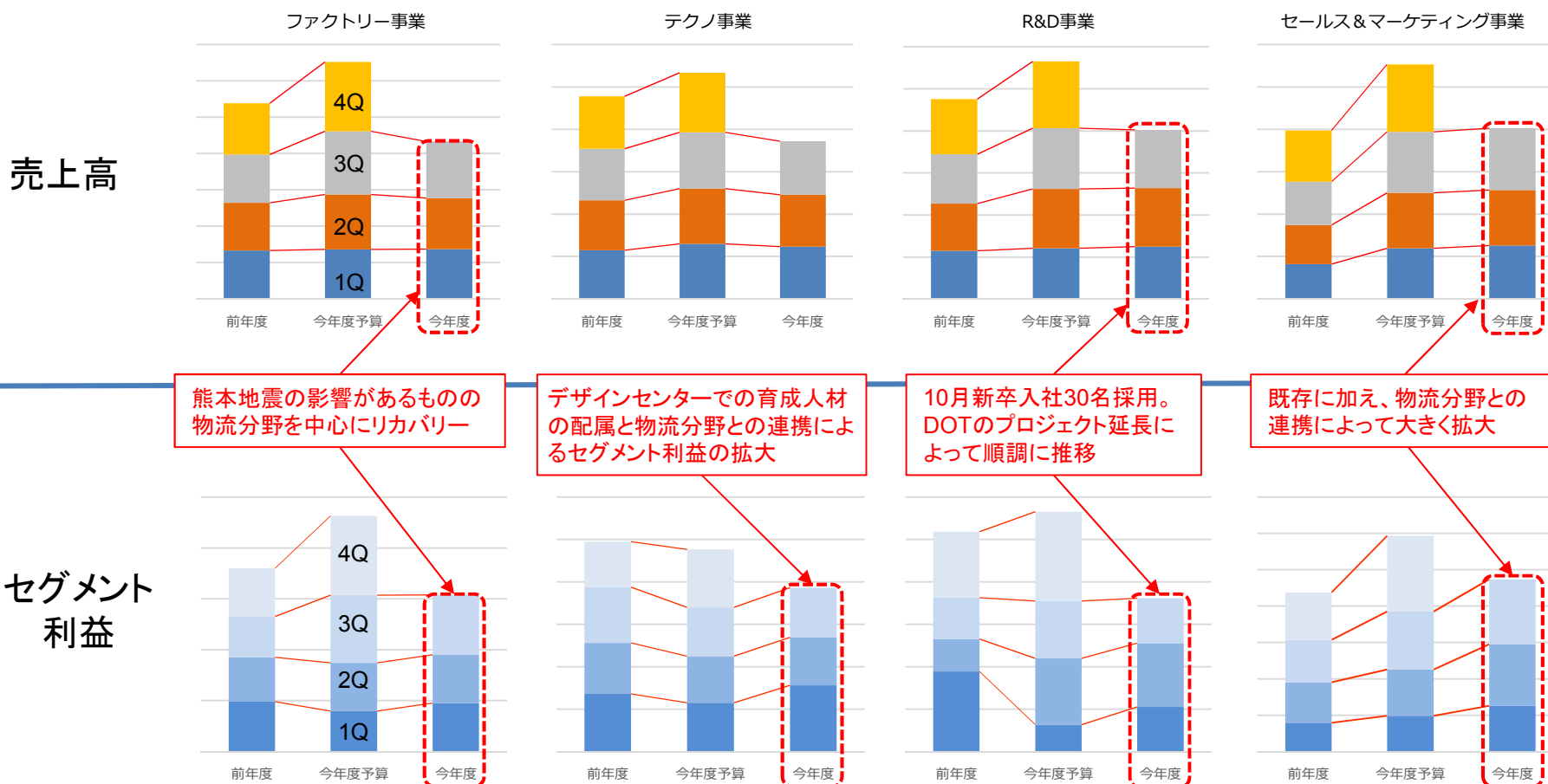
単位：百万円、%			2015/3Q 実績	2016/3Q 実績	前年同期比		通期予算 ※	通期予算に 対する 進捗率
			(利益率)	(利益率)	増減額	増減率	(利益率)	
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高	19,860	21,623	1,762	8.9	32,571	66.4
		セグメント利益	1,324 (6.7%)	1,539 (7.1%)	215	16.2	2,316 (7.1%)	66.5
	テクノ事業	売上高	7,075	7,437	361	5.1	10,669	69.7
		セグメント利益	775 (11.0%)	772 (10.4%)	△2	△0.3	952 (8.9%)	81.1
	R & D 事業	売上高	3,442	4,022	580	16.9	5,650	71.2
		セグメント利益	362 (10.5%)	361 (9.0%)	△1	△0.4	565 (10.0%)	63.9
	セールス&マーケティング事業	売上高	2,762	4,021	1,259	45.6	5,525	72.8
セグメント利益		153 (5.6%)	236 (5.9%)	83	54.3	296 (5.4%)	79.7	
その他の事業	売上高	344	350	5	1.7	547	64.0	
	セグメント利益	12 (3.6%)	12 (3.7%)	0	3.8	26 (4.8%)	46.2	
計 (参考)		売上高	33,485	37,455	3,969	11.9	54,963	68.1
		セグメント利益	2,628 (7.8%)	2,923 (7.8%)	295	11.2	4,157 (7.6%)	70.3
不動産ビジネス	不動産事業	売上高	27,535	26,422	△1,113	△4.0	37,092	71.2
		セグメント利益	3,412 (12.4%)	4,999 (18.9%)	1,587	46.5	3,921 (10.6%)	127.5
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高	8,714	5,796	△2,917	△33.5	8,056	71.9
		セグメント利益	△47 (—)	164 (2.8%)	211	—	200 (2.5%)	82.0
合 計	売上高	69,736	69,675	△60	△0.1	100,111	69.6	
	消去又は全社 営業利益	△1,049	△1,581	△60	△0.1	△2,003	69.6	
		営業利益	4,943 (7.1%)	6,506 (9.3%)	1,562	31.6	6,275 (6.3%)	103.7

※2016年2月3日発表



セグメント別予算進捗 ①人材・教育ビジネス

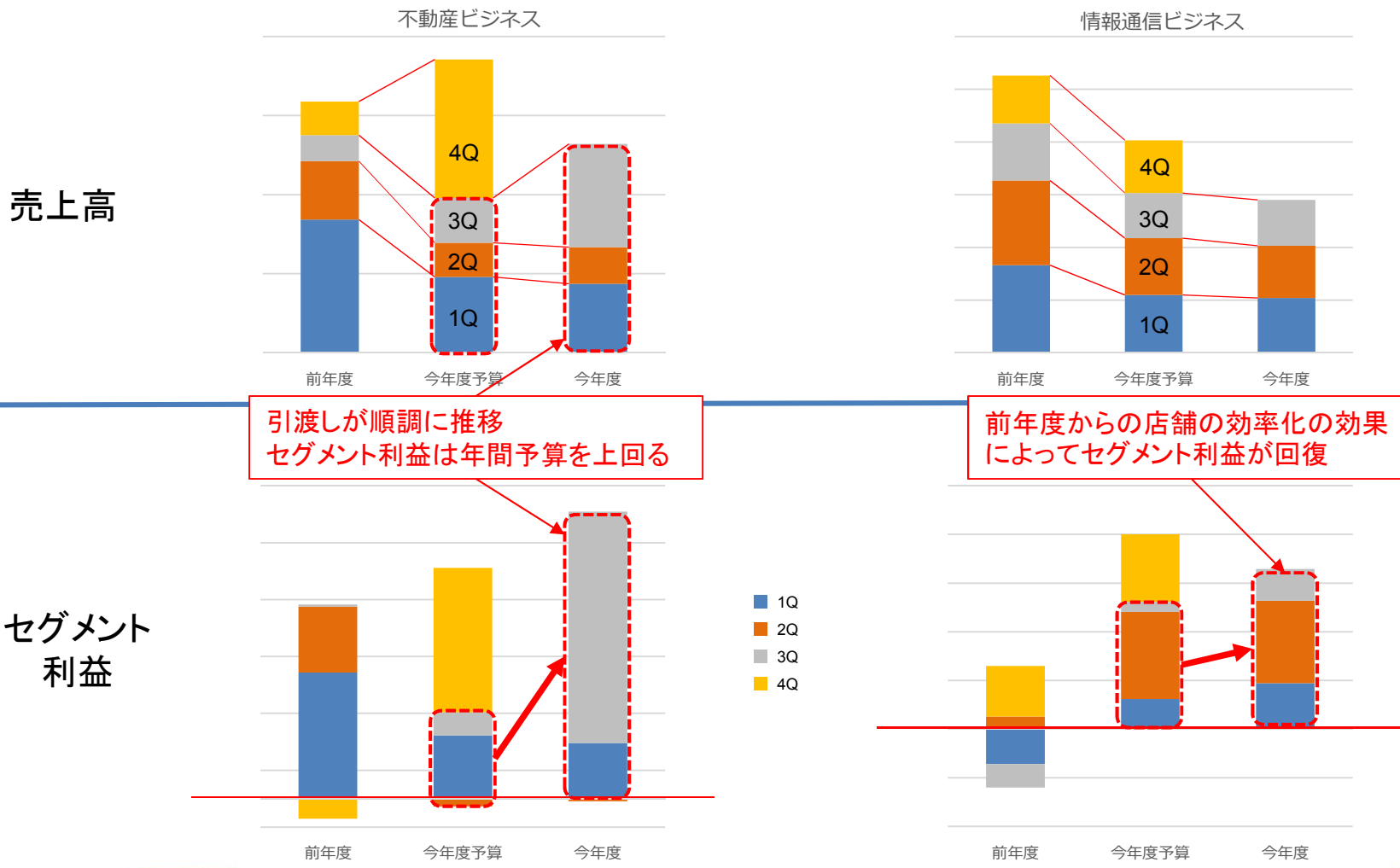
売上高の進捗については、熊本地震の影響があるものの、セグメント利益については計画通り順調に推移



セグメント別予算進捗 ②不動産ビジネス、情報通信ビジネス



不動産ビジネスについては、引渡しが順調に推移。セグメント利益も予算を大きく上回る
 情報通信ビジネスについては、昨年からの事業投資によってセグメント利益が回復



引渡しが順調に推移
 セグメント利益は年間予算を上回る

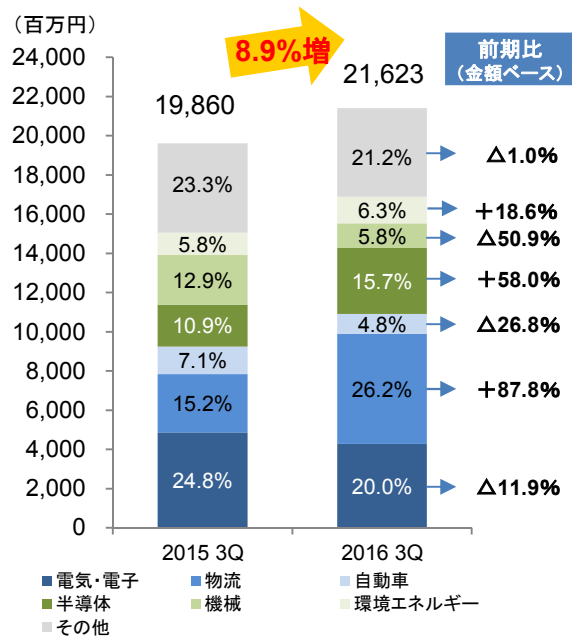
前年度からの店舗の効率化の効果
 によってセグメント利益が回復

ファクトリー事業

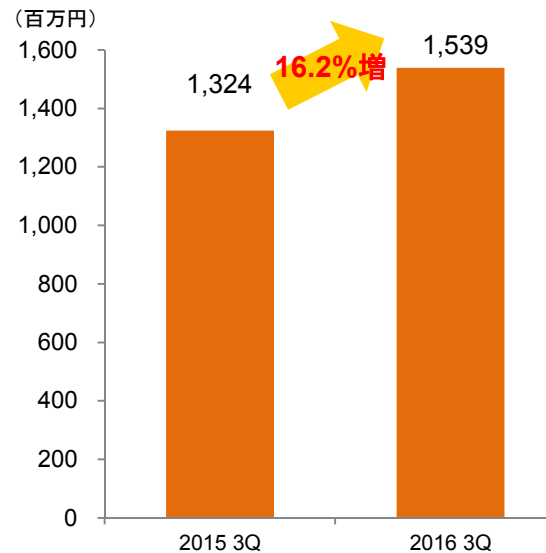
<分野別売上高・構成比と在籍数>

- 物流分野では、他のセグメントや協力会社と構築してきた連携体制が機能し、急激な増員ニーズにもスピードをもって対応。大きな拡大に繋げる
- 製造分野も、スマートフォン関連の半導体を中心に拡大

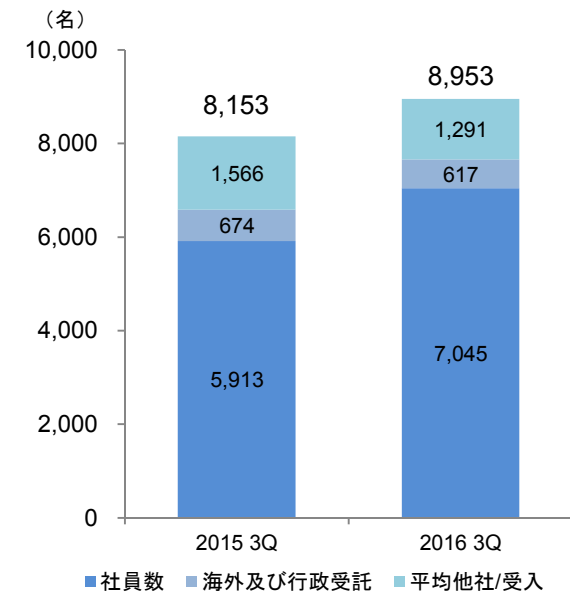
◆ 業種別売上高と売上高構成比(%)



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移(3ヶ月平均)



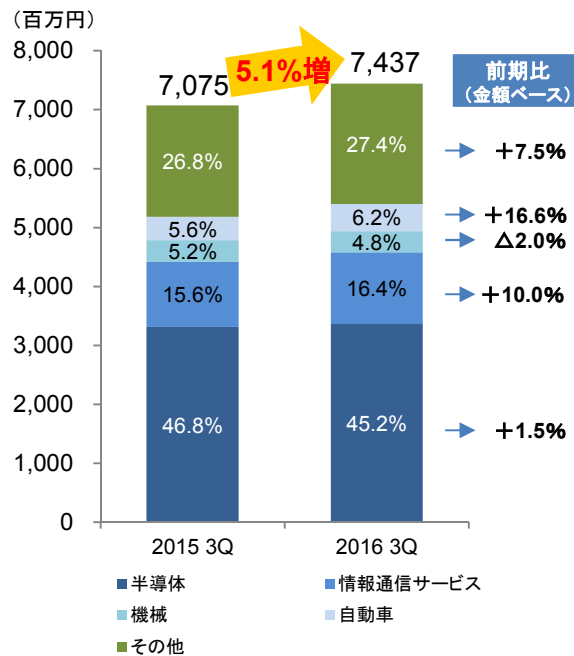
※在籍数は3か月平均 他社受入の外部人員を含む
 ※在籍数は現業社員のみ

テクノ事業

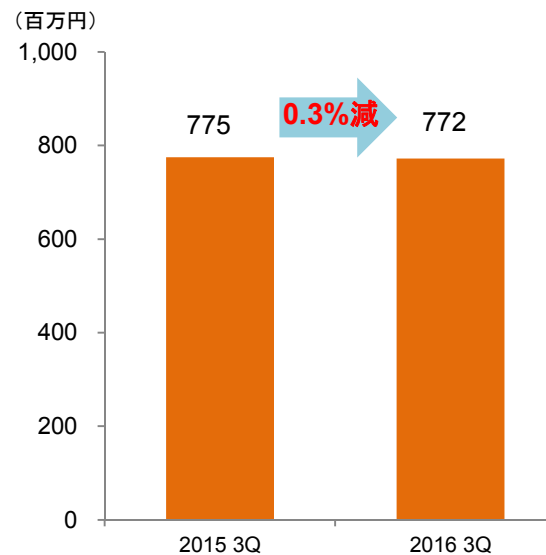
<分野別売上高・構成比と在籍数>

- 情報通信サービス・自動車分野において、今期投資したデザインセンターでの育成人材の配属が順調に推移
- コンストラクション部門では、施設管理のノウハウを物流分野で対応し領域を拡大
- リペア部門の強化を目的に、日研テクノ(株)を子会社化

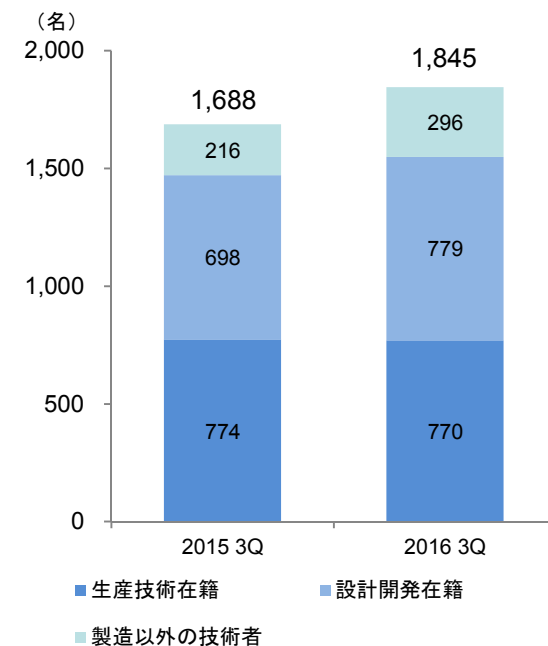
◆ 業種別売上高と売上高構成比(%)



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移(3ヶ月平均)



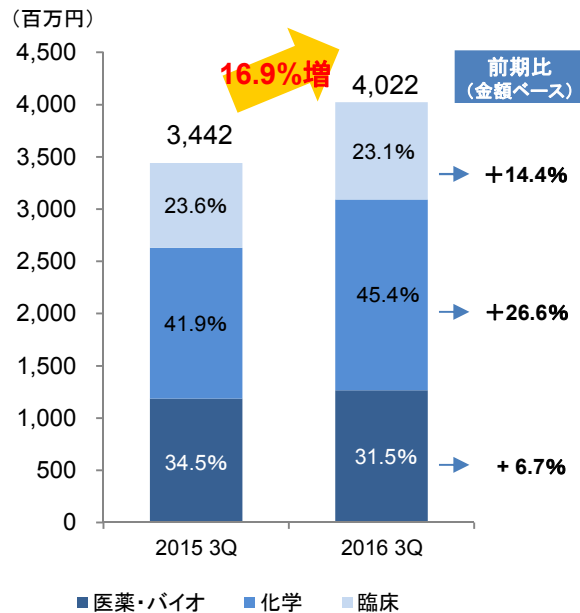
※在籍は3か月平均
 ※在籍数は現業社員のみ数字

R&D事業

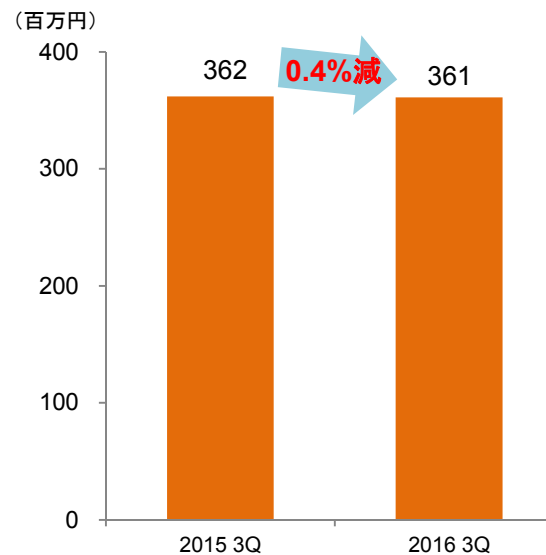
<分野別売上高・構成比と在籍数>

- 医療機器メーカー、ジェネリック医薬品メーカーの受注増加によって順調に推移
- 昨年から取組んでいる採用組織によって、10月新卒入社も30名まで確定
- DOTインターナショナル(株)は、人材育成に投資を集中。大口案件への対応力強化。

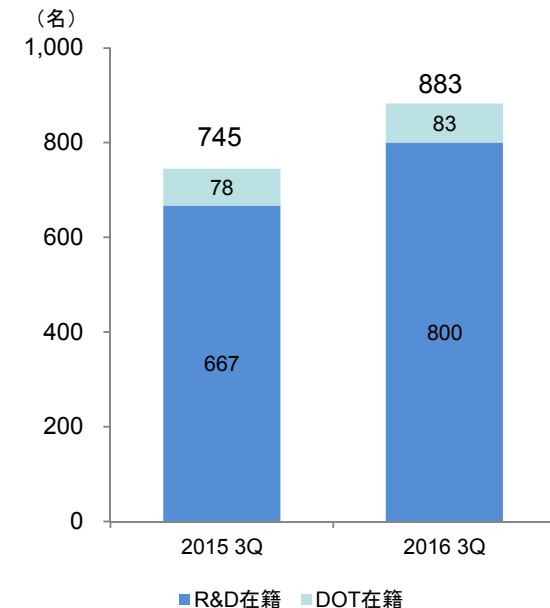
◆ 業種別売上高と売上高構成比(%)



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移(3ヶ月平均)



・在籍は3か月平均、在籍数は現業社員のみ数字

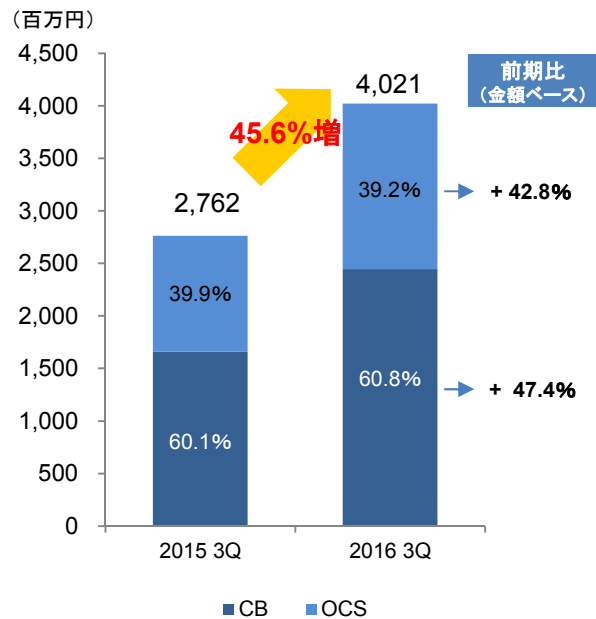
※PV=Pharmacovigilanceの略(医薬品安全性管理)
 医薬品の副作用などの安全性情報を的確かつ迅速に
 収集・分析する業務

セールス&マーケティング事業

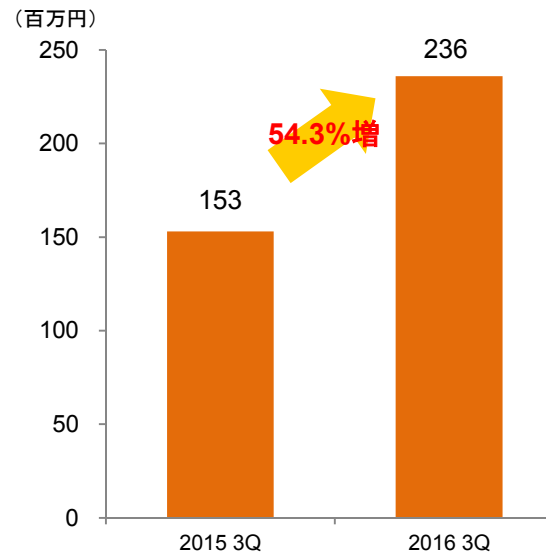
<分野別売上高・構成比と在籍数>

- CB(販売員派遣)は、百貨店・量販店との直接取引の集中によって大きく拡大
- OCS(コールセンター等のオペレータ派遣)は、大手ベンダーとの強固な関係による既存事業の拡大に加え、物流分野とのシナジーによって大きく拡大。

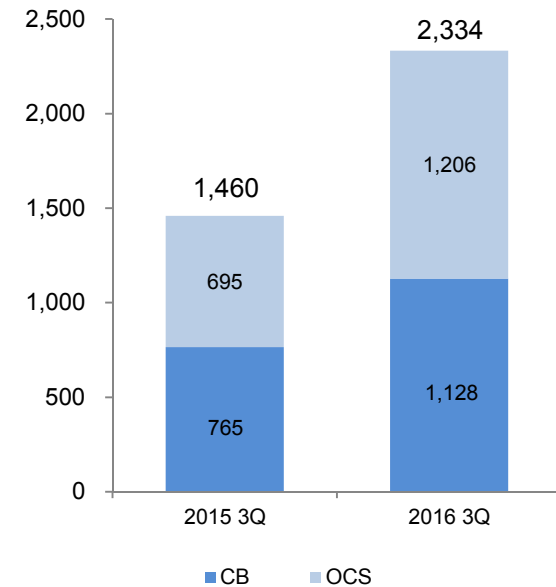
◆ 業種別売上高と売上高構成比(%)



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移(3ヶ月平均)



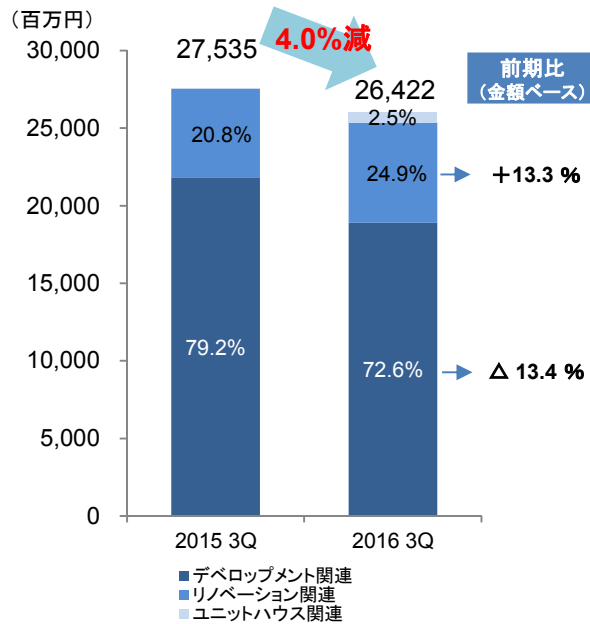
※在籍は3か月平均
 ※在籍数は現業社員のみ数字

不動産ビジネス

＜業態別売上高・構成比と主な開発物件＞

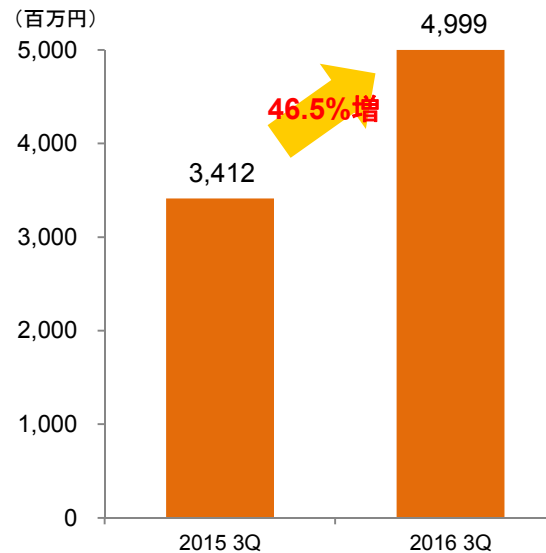
- デベロップメント関連：引渡しが順調に推移し、セグメント利益拡大に大きく寄与
- リノベーション関連：前期の順調な仕入れを受け、計画を上回る状況で推移
- ユニットハウス関連：主要顧客への取引が順調に推移

◆ 業態別売上高と売上高構成比(%)



※ユニットハウス関連は、(株)オオマチワールド子会社化に伴い、2015 4Qより新設

◆ セグメント利益



◆ 主な開発物件

レジデンシャル品川中延グランクラス

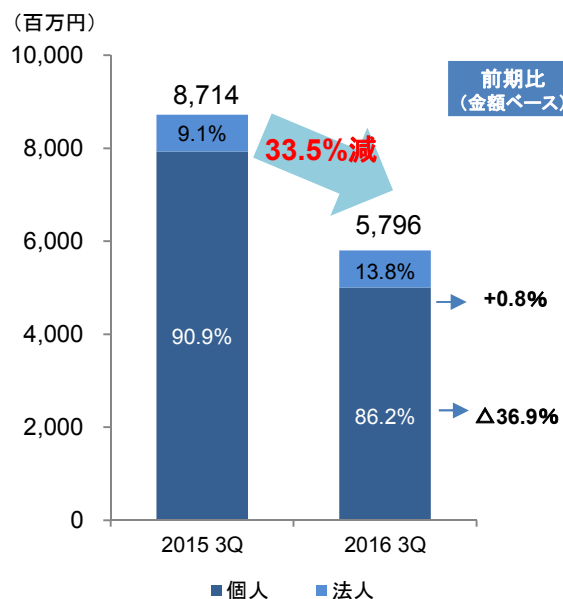


＜所在地＞ 東京都品川区中延
 ＜交通＞ 東急池上線「荏原中延」駅より徒歩2分
 ＜販売戸数＞ 52戸

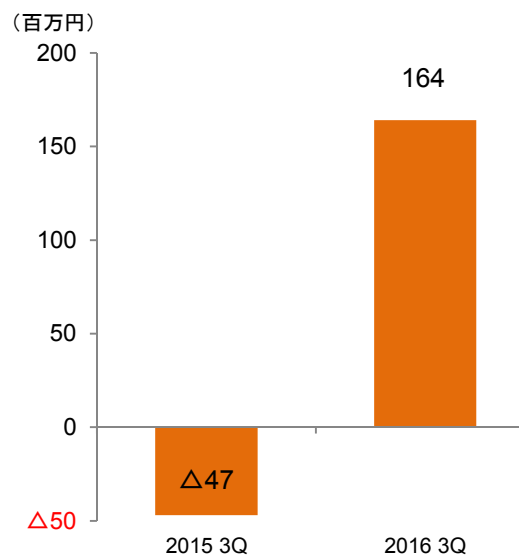
<売上高と店舗数推移>

- 顧客ニーズに合わせた関連商材の販売を強化し、顧客一人あたりの収益向上
- 前年度からの店舗効率化により、一人当たりの生産性の向上と固定費の圧縮につながる

◆ 仕向け別売上高



◆ セグメント利益



◆ お客様に選ばれる店舗づくり



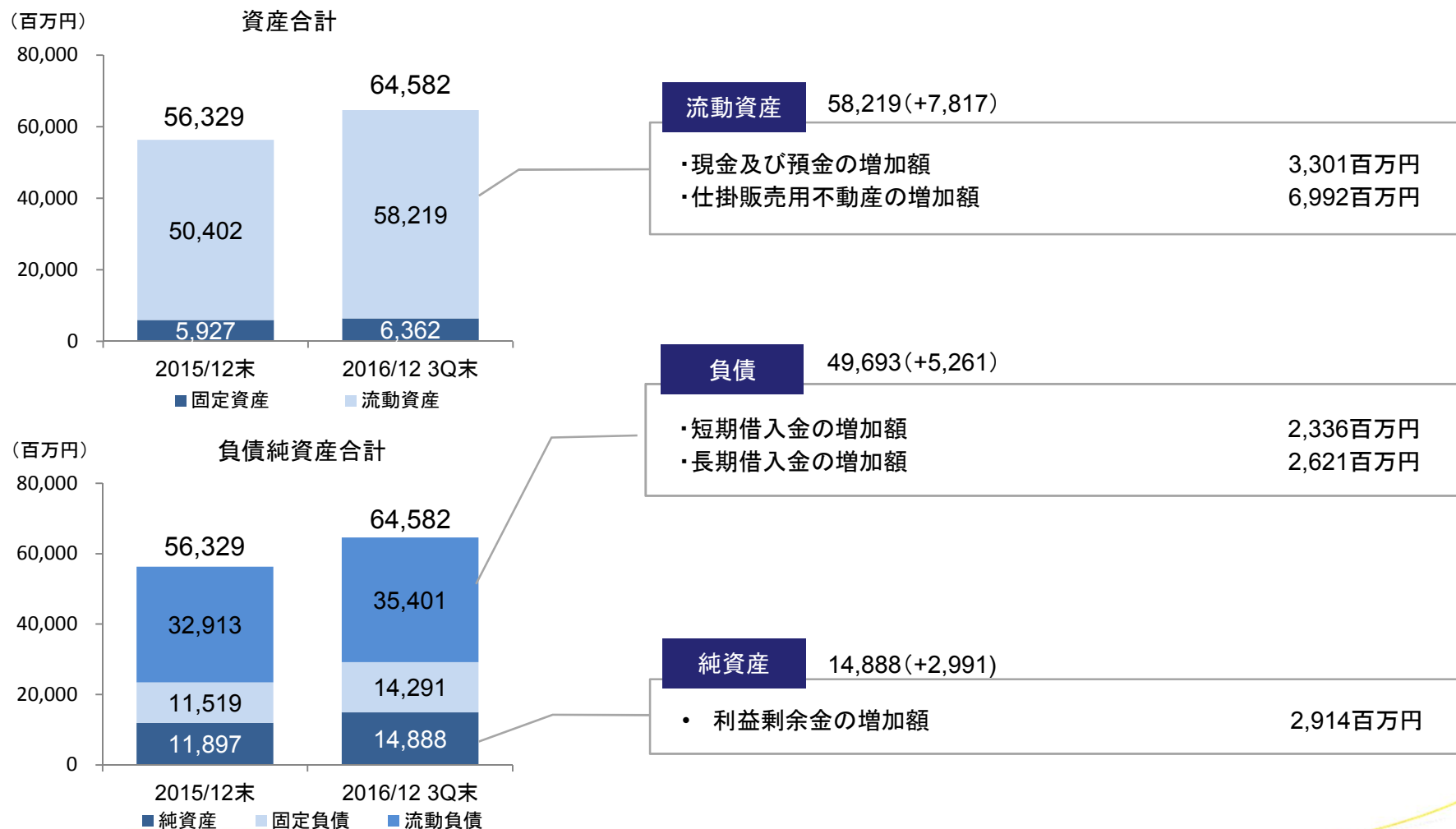
◆ 法人向け商材も充実



財政状態 B/S



● 不動産ビジネスでの事業用地仕入れを強化、仕掛販売用不動産が増加





Ⅱ. 2016年12月期 業績予想

2016年12月期 通期業績予想サマリー



- 7期連続増収、6期連続増益によって過去最高を達成の見込み

単位:百万円、%	2015/12 実績	2016/12 予算※	前期比	
			増減額	増減率
売上高	87,984	100,111	12,127	13.8
営業利益	5,137	6,275	1,138	22.2
経常利益	5,133	6,153	1,019	19.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,810	3,814	3	0.1
一株当たり利益(円)	228.05	228.27	0.2	0.1
一株当たり配当金(円)	45.7	68.5	22.8	49.9

※2016年2月3日発表

セグメント別 通期業績予想



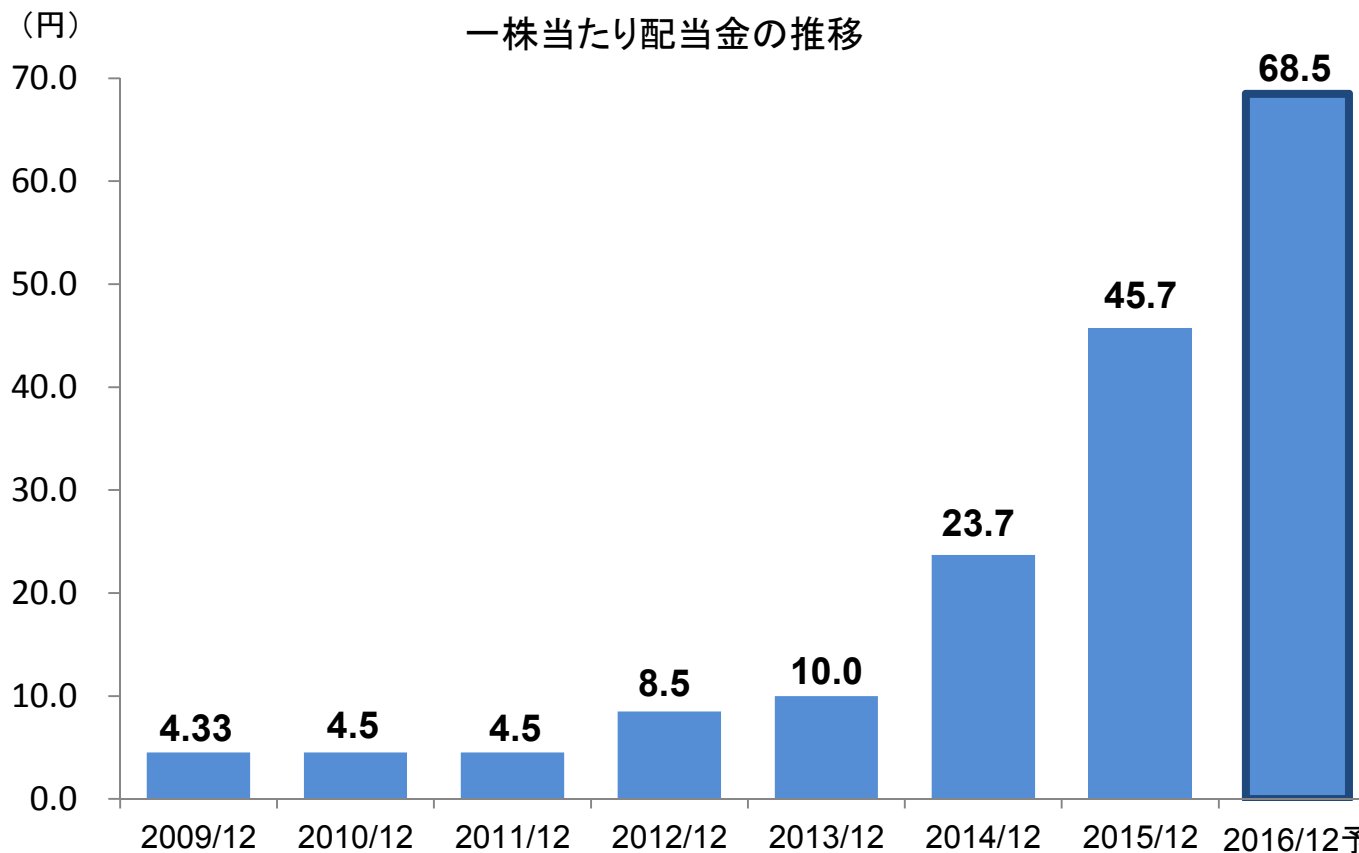
- すべてのコアビジネスで増益を達成する見込み

単位：百万円、%			2015/12 実績	(利益率)	2016/12 予算 ※	(利益率)	前期比	
							増減額	増減率
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高	26,910		32,571		5,661	21.0
		セグメント利益	1,801	(6.7%)	2,316	(7.1%)	515	28.6
	テクノ事業	売上高	9,547		10,669		1,121	11.7
		セグメント利益	989	(10.4%)	952	(8.9%)	△36	△ 3.7
	R & D 事業	売上高	4,755		5,650		894	18.8
		セグメント利益	518	(10.9%)	565	(10.0%)	47	9.1
セールス&マーケティング事業	売上高	3,972		5,525		1,552	39.1	
	セグメント利益	218	(5.5%)	296	(5.4%)	77	35.5	
その他の事業	売上高	491		547		56	11.4	
	セグメント利益	15	(3.2%)	26	(4.8%)	10	70.3	
計(参考)		売上高	45,677		54,963		9,286	20.3
		セグメント利益	3,543	(7.8%)	4,157	(7.6%)	614	17.3
不動産ビジネス	不動産事業	売上高	31,785		37,092		5,307	16.7
		セグメント利益	3,061	(9.6%)	3,921	(10.6%)	860	28.1
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高	10,522		8,056		△2,466	△ 23.4
		セグメント利益	4	(0.0%)	200	(2.5%)	195	4,054.5
合 計	売上高	87,984		100,111		12,127	13.8	
	消去又は全社	△1,472		△2,003		(—)	(—)	
	営業利益	5,137	(5.8%)	6,275	(6.3%)	1,138	22.2	

※2016年2月3日発表



2016年度より配当性向30%を目標に



※業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



株式会社ワールドホールディングス
経営管理本部 広報IR室 重松 祥平

TEL 03-3433-6005
E-MAIL irinfo@world-hd.co.jp
URL <http://www.world-hd.co.jp/>

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。
万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。